

令和3年 長崎年表

1月2日 市は、新たに17人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。市立保育所の調理師1人、長崎北徳洲会病院の入院患者ら6人が含まれる。

1月3日 市は、新たに19人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。特別養護老人ホーム・ショートステイ「めざめ」で新たに利用者ら4人が感染し、クラスターが発生した。井上病院の医療従事者1人、飲食店経営の40代男性ら2人が含まれる。

1月4日 市は、新たに14人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。小江原中央病院の医療従事者1人、浜屋百貨店の店員2人、特別養護老人ホーム・ショートステイ「めざめ」の利用者や職員ら3人、長崎北徳洲会病院の医療従事者1人が含まれる。

1月5日 市は、新たに23人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。浜屋百貨店で新たに店員6人の感染が判明し、クラスターが発生した。30代男性県職員1人、長崎北徳洲会病院の入院患者4人、特別養護老人ホーム・ショートステイ「めざめ」の職員1人が含まれる。

1月5日 市は、高齢者の新型コロナウイルス感染防止のため、ふれあいセンターや公民館など公共施設73か所を今月末まで休館すると発表した。

1月5日 市は、市内在住の女性を被爆者と認め、被爆者健康手帳の交付を命じた長崎地裁判決を受け、この女性に手帳を交付した。

1月6日 県は、直近1週間の新規感染者が大幅に増えているため、県内の感染状況を5段階で示すステージを2番目の「4」に引き上げ、県内全域に特別警戒警報を発令した。1月17日まで県外との往来や、県外での会食の自粛を要請した。長崎市内については外出自粛も要請した。

1月6日 市は、新たに20人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。市南総合事務所の女性職員1人が含まれる。また、入院治療中の1人が5日に死亡した。

1月7日 新型コロナウイルス感染拡大を受け、銅座・思案橋一带の飲食店関係者が、市に対し補償をセットにしたうえで休業要請を県に働きかけるよう要望した。

1月7日 市は、新たに32人が新型コロナウイルスに感染し、3件のクラスターが発生したと発表した。十善会病院で職員3人、デイサービス施設「西山十三番館」での利用者ら8人、店名非公表の飲食店の利用客4人が含まれる。

1月7日 菅首相は、新型コロナウイルス感染症対策本部を官邸で開き、東京、埼玉、千葉、神奈川の1都3県に緊急事態宣言を再発令した。

1月8日 市は、新たに16人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。井上病院の入院患者1人、店名非公表の飲食店関連で2人が含まれる。

1月9日 市は、新たに29人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。長崎北徳洲会病院の入院患者1人が含まれる。

1月9日 長崎地方气象台によると、市内は9日午前1時に観測史上2番目となる15センチの積雪を記録し、公共交通機関の運行に影響を及ぼした。また、水道管の凍結や破損の連絡が約40件あった。

1月10日 市は、新たに14人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。ベスト電器長崎夢彩都店で新たに1人が感染しクラスターとなった。浜屋百貨店の勤務者1人、市役所理財部の60代男性職員1人が含まれる。また、感染後に入院治療中だった無職1人が9日に死亡した。

1月11日 市は、新たに9人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。長崎みなとメディカルセンターの医療職1人、十善会病院の医療従事者1人よ入院患者1人、ベスト電器長崎夢彩都店での2人が含まれる。

1月12日 市は、新たに16人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。特別養護老人ホーム・ショートステイ「めざめ」利用者1人、長崎北徳洲会病院の関係者1人が含まれる。

令和 3 年 長崎年表

1月13日 市は、新たに23人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。エレナ上小島店で新たに従業員4人の感染が判明し、クラスターが発生した。県医師会の森崎正幸会長も感染した。また、入院治療中の1人が12日に死亡した。

1月13日 菅首相は、新型コロナウイルス感染症対策本部を官邸で開き、緊急事態宣言の対象地域に栃木、岐阜、愛知、京都、大阪、兵庫、福岡の計7府県を追加した。

1月14日 市は、新たに23人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。済生会長崎病院の医療職1人と長崎労働局の職員1人が含まれる。

1月15日 市は、新たに10人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。20代男性専門学校生2人が含まれる。

1月16日 県は、新型コロナウイルス感染拡大が続く長崎市に対し、県独自の緊急事態宣言を発令した。運動施設、遊技場などの営業時間短縮の協力を依頼した。また、県内全域の飲食店などを対象に、2月7日までの19日間の営業時間短縮を要請した。全期間実施を条件に76万円を支給する。

1月16日 市は、新たに16人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。

1月17日 市は、新たに10人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。入院治療中だった1人が16日に死亡した。

1月17日 アメリカが昨年11月に臨界前核実験を実施していたとの報道を受け、田上市長と井上市議会議長は連名で、トランプ大統領あての抗議文を在日米国大使館に送った。

1月18日 市は、新たに7人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。滑石保育園では新たに保育士5人の感染が判明し、クラスターと認定した。また、入院治療中だった無職の1人が死亡した。

1月19日 市は、新たに22人が新型コロナ

ウイルスに感染したと発表した。滑石保育園と道ノ尾病院の医療従事者各1人、市選挙管理委員会の50代男性職員1人が含まれる。

1月20日 市は、新たに17人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。滑石保育園の園児1人、十善会病院の医療従事者2人が含まれる。また、入院治療中だった高齢者1人が19日に死亡した。

1月21日 市は、新たに15人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。滑石保育園の園児1人、警察署に勤務する30代女性事務員1人が含まれる。

1月22日 核兵器を全面的に禁止する核兵器禁止条約が発効した。核保有国や米国の核抑止力に依存する日本などは参加していない。菅首相は、21日の参議院本会議で、条約に署名する考えはないと明言した。

1月22日 市は、新たに8人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。市立小学校の関係者1人が含まれる。

1月23日 市は、新たに3人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。20代男子大学生ら3人が含まれる。また、入院治療中だった1人が22日死亡した。

1月24日 市は新たに7人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。市教育委員会の女性職員1人、十善会病院の職員2人及び入院患者1人が含まれる。

1月25日 市は、新たに2人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。滑石保育園の男児1人が含まれる。

1月25日 田上市長は、一般患者とコロナ患者を受け入れる医療体制を維持できるよう、市内の400超の病院・診療所に役割分担と連携の協力を文書で依頼した。

1月26日 市は、新たに10人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。市立小学校の関係者1人が含まれる。

令和 3 年 長崎年表

1月26日 県と市は、被爆2世の健康管理のための「被爆2世健康記録簿」を新年度から発行、配布する方針であることを明らかにした。

1月27日 市は、新たに4人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。また、入院治療中だった無職の2人が26日に死亡した。

1月28日 市は、新たに5人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。市立小学校2校の関係者各1人が含まれる。

1月28日 市は、新型コロナウイルスの影響で延期していた長崎平和マラソンについて、被爆80周年にあたる2025年度の開催を検討すると発表した。

1月29日 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている経済団体と市との意見交換会有り、業界の窮状や市からの支援を訴えた。

1月29日 市は、新たに5人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。

1月30日 市は、新たに3人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。70代無職男性ら計3人が含まれる。また、入院治療中だった80代無職女性1人が29日に死亡した。

1月31日 市は、新たに60代女性1人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。また、入院治療中だった80代無職男性1人が30日に死亡した。

2月1日 市は、新たに60代男性会社員1人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。

2月2日 菅首相は、新型コロナウイルス特措法に基づく緊急事態宣言について、東京、埼玉、千葉、神奈川、岐阜、愛知、京都、大阪、兵庫、福岡の10都府県は3月7日まで延長し、栃木県のみ2月7日で解除すると表明した。

2月3日 新型コロナウイルス感染対策を強化するための改正コロナ特措法と改正感染症法は参議院本会議で可決、成立した。緊急事態宣言の前段階として「まん延防止等重点措置」と、

営業時間短縮の命令や入院措置に応じない場合の過料を新たに新設した。

2月4日 市は、新たに同じ市立中学校に勤務する20代女性職員と50代男性職員の計2人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。

2月4日 長崎地検は、正当な理由なくサブイナルナイフを所持していたとして、昨年12月に銃刀法違反で現行犯逮捕された北消防署の男性職員について1月29日付けで不起訴としたと発表した。

2月5日 県は、新型コロナウイルスの感染拡大で長崎市に独自に発令していた緊急事態宣言と県内全域の飲食店などに要請していた営業時間短縮要請について、期限の7日までで解除すると発表した。

2月5日 市は、新たに5人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。2人に感染が確認されていた市立中学校で新たに4人（長崎市3人、大村市1人）が感染したため、クラスターと認定した。

2月5日 市は、住吉町の被爆建造物「三菱兵器住吉トンネル工場跡」にある2号トンネルの安全対策用鉄柵の一部が壊されたと明らかにした。

2月6日 市は、新たに30代女性と年代非公表の男女各1人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。

2月7日 市は、新たに60代女性1人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。

2月8日 市は、米国が昨年11月に実施した臨界前核実験を受けて在日米億大使館への抗議文の返書が同国のヤング駐日臨時代理大使から届いたと発表した。

2月10日 市は、新たに40代男性会社員1人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。

2月11日 市は、新たに70代女性と70代無職男性、50代女性会社員各1人が新型コロナウ

令和 3 年 長崎年表

イルスに感染したと発表した。

2月12日 市は、新たに40代無職女性1人が新型コロナウイルスに感染したと発表した

2月17日 市は、新たに60代無職男性1人と職業非公表の60代男性1人が新型コロナウイルスに感染したと発表した

2月17日 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が、国立病院機構東京医療センターなど首都圏8病院で始まった。

2月18日 市は、新たに職業非公表の80代男性1人と60代無職女性1人が新型コロナウイルスに感染したと発表した

2月18日 市消防局は、2020年中に管内(長崎市、西彼時津町、長与町)で発生した火災の概況(確定値)を公表した。それによると、建物火災は62件、焼失面積の合計は3,898平方メートル(前年2,111平方メートル)、1件当たりでは62.9平方メートル(同36.4平方メートル)で、いずれも前年より増加した。

2月18日 九州北部に強い寒気が流れ込み、長崎市では4センチの積雪と最低気温マイナス0.7度を観測した。雪の影響で長崎自動車道と長崎バイパスが一時通行止めとなった。また、長崎市と諫早市などを結ぶ高速シャトルバスが終日運休となり、長崎市内を走る路線バスの一部区間で一時運行見合わせとなった。

2月19日 市は、新たに70代無職女性1人と40代女性2人が新型コロナウイルスに感染したと発表した

2月19日 中村知事は、新型コロナウイルスの感染者が減少したとして、長崎、佐世保両市に発令していた特別警戒警報を21日までで解除し不要不急の外出自粛要請を終了すると発表した。

2月20日 市は、新たに男性3人が新型コロナウイルスに感染したと発表した

2月20日 長崎市中心部と東長崎地区を結ぶ国道34号の新日見トンネル下り線が開通した。

2月21日 市は、新たに50代男性等計4人が新型コロナウイルスに感染したと発表した

2月22日 県内での新型コロナウイルス感染症ワクチンの先行接種が、諫早総合病院など3病院で始まった。

2月23日 市は、新たに年代職業非公表の男性1人が新型コロナウイルスに感染したと発表した

2月25日 原爆の爆風で吹き飛ばされ、片方の柱だけが残った「一本柱の鳥居」が山王神社で、正確な所在が分からなくなっていた「四の鳥居」の一部が見つかった。

2月26日 市は、新型コロナウイルスのワクチン接種についての市民の疑問や相談を受け付けるコールセンターを開設した。

2月26日 中村知事は、新型コロナウイルスの感染状況を示す県のステージを27日から全域でステージ1に引き下げると発表した。

2月28日 市は、70代無職の女性が新型コロナウイルスに感染したと発表した。

3月3日 市は、新型コロナウイルスに感染し、市内の医療機関で入院治療中の70代無職男性が2日に死亡したと発表した。

3月5日 政府は新型コロナウイルス感染症対策本部会合を首相官邸で開き、首都圏1都3県に発令している緊急事態宣言について、7日の期限を21日まで2週間再延長をすると決定した。

3月8日 市は、新型コロナウイルス対策として中小事業者に支給する20万~30万円の一時金の申請受付を始めた。

3月9日 定例長崎市議会は本会議を開き、総額2,243億8,000万円の2021年度一般会計当初予算案など57議案を原案どおり可決した。また、「市議会会議規則」に、議員の産休期間を出産予定日の6週間前の日から産後8週間と明記する改正案も可決した。

令和 3 年 長崎年表

3月9日 長崎地裁は、元市職員の50代女性が市に提出した退職願は持病の統合失調症により正常な判断能力がない状態だったため無効として退職の取り消しを命じた。

3月12日 市議会の向山宗子副議長は、定例市議会に副議長の辞職願を提出し、許可された。副議長選の結果、後任に岩永敏博氏が選出された。

3月16日 市は、災害発生時に避難所の電源として電動車を活用するため、長崎三菱自動車販売と三菱自動車と協定を結んだ。

3月16日 長崎地裁は、同じ市営住宅に住む女性を殺害したとして、殺人と住居侵入の罪に問われた無職、松本廣幸被告に懲役14年の判決を言い渡した。

3月18日 田上市長は、英国が保有する核弾頭の上限を現在の180発から260発に引き上げると表明したことを受け、ジョンソン首相らへ、誠実な核軍縮への取り組みを求める要請文を送った。

3月18日 県内のほとんどの公立小学校で卒業式が行われ、式典は新型コロナウイルス対策で換気のため常時窓を開けるなどして実施された。

3月18日 政府は、新型コロナウイルス感染症対策本部会合を首相官邸で開き、首都圏1都3県に発令している緊急事態宣言を、再延長した期限通りの21日までで解除すると決定した。

3月19日 市は、新たに20代男性会社員1人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。

3月20日 東京オリンピック・パラリンピック大会組織委員会、政府、東京都、国際オリンピック委員会（IOC）、国際パラリンピック委員会（IPC）は、新型コロナウイルスの変異株の出現などで厳しい感染状況が続いているため、海外からの一般観客受け入れを断念することを決定した。

3月21日 市は、新たに40代女性1人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。

3月23日 市教育委員会は、市立中学校で提供された給食に、直径6^{ミリ}程度のリング状の金属片1個が混入していたと発表した。

3月25日 長崎自動車、長崎県交通局、長崎電気軌道の公共交通3事業者は、新型コロナウイルス感染拡大による利用減少の状況を明らかにした。これを受け3社のトップらは、運行維持への財政支援を田上市長に求めた。

3月25日 長崎市でマンションやオフィスビルなどを建設する際の容積率を最大2倍に拡大する運用が始まった。

3月26日 市は、新型コロナウイルスワクチン接種について、4月12日の週から65歳以上の高齢者を対象に限定的に開始すると発表した。

3月29日 長崎地方気象台は、県内で黄砂を観測したと発表した。長崎市では水平方向で見通しが利く距離「視程」が8^{キロ}になり、風景がぼんやりとかすんで見える状態になった。

3月30日 市保健所は、岩川町の居酒屋で食中毒が発生し、食品衛生法違反として4月1日までの3日間の営業停止処分にしたと発表した。

3月31日 鹿尾町と大崎町を結ぶ林道大崎線の復旧工事が完成した。2013年にのり面が崩落し全線通行止めになっていたが、4月1日から通行可能となる。

4月1日 県内各自治体で新規採用職員らへの辞令交付式があり、マスク着用などの新型コロナウイルス感染防止対策を実施した上で開催した。

4月1日 2021年の長崎市表彰式が長崎ブリックホールで行われ、福祉や教育、文化などの各分野で市政発展に貢献した個人53人と10団体を表彰した。

4月3日 県と市は、市内在住30代女性と県外在住で時津町を訪れていた20代男性の2人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。

4月5日 市は、8月9日の平和記念式典で

令和3年 長崎年表

「平和への誓い」を述べる被爆者代表の公募に、市内外 20 人から応募があったと発表した。

4月6日 県内の多くの公立小中学校で始業式があった。マスク着用など新型コロナウイルス感染防止策を取りながら、児童生徒の新しい学校生活が始まった。

4月8日 市は、高齢者向けの新型コロナウイルスのワクチン接種を 12 日から始めると発表した。

4月9日 東京五輪・パラリンピック組織委員会は、五輪の聖火リレーの実施形態について、5月1日～12日にかけて走行する長崎県、沖縄県、熊本県、佐賀県、福岡県の 5 県は予定通り、公道で実施すると発表した。

4月12日 65 歳以上の高齢者を対象にした新型コロナウイルスのワクチン接種が全国で始まった。医療従事者を除く一般住民への接種は初めて。対象は 3,600 万人、うち県内は約 44 万人となる。

4月13日 県は、県内の新型コロナウイルス感染者 3 人から従来より感染力が強いとされる英国由来の変異株を確認したと発表した。

4月14日 市は、8月9日の平和記念式典で「平和への誓い」を読み上げる被爆者代表を選ぶ第 2 回審査会を開いた。全国から応募した 20 人から候補者を 7 人に絞り込んだ。

4月14日 県は、5月7、8日に予定されている東京五輪の聖火リレーに関し、初日最終区間の長崎市において「遣唐使船」を活用した海上聖火リレーを実施すると発表した。

4月15日 県内で新型コロナウイルス感染者が増加しているとして、中村知事は臨時記者会見を開き、感染状況を 5 段階で示す県独自のステージを「2」に引き上げ、県内全域に「注意報」を発令すると発表した。

4月16日 長崎帆船まつり実行委員会は、長崎港で 23 日～27 日に開催予定だった「2021 長崎帆船まつり」を中止すると発表した。中止は 2

年連続。

4月17日 「暴力追放『いのちを守る』長崎市民集会」が市民会館（魚の町）で開かれ、長崎市長だった伊藤一長氏が射殺された事件から 14 年になり、田上市長は「事件に対する怒りと悲しみは、どれだけ時間が過ぎても忘れない」とあいさつした。

4月18日 県内では、新たに 20 人の新型コロナウイルス感染確認が発表され、3 日連続で感染者が 20 人以上となった。

4月19日 県内で新型コロナウイルスの感染が急拡大しているとして、中村知事は臨時記者会見を開き、感染状況を 5 段階で示す県独自のステージを 20 日に「3」に引き上げ、県内全域に「警戒警報」を発令すると発表した。

4月20日 県が新型コロナウイルス感染の広がりを示すステージを 3 に引き上げたのを受けて、田上市長は 5 月 1 日の予定だった成人式のオンライン開催を発表した。

4月21日 市は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で売り上げが減った中小企業への一時金について、申請期限を 5 月末まで延長すると発表した。

4月23日 県は、2020 年国勢調査の県独自の集計結果を発表した。国集計の速報値は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で 6 月に発表予定。

4月24日 中村知事は臨時記者会見で、大型連休前に県内の新型コロナウイルス感染者が急増しているとして、市内の飲食店などに 28 日～5 月 11 日までの 14 日間、営業時間を短縮するよう要請すると発表した。

4月26日 市は、新型コロナウイルス感染の第 4 波が急拡大しているとして、グラバー園など 37 の市有施設を 28 日から 5 月 11 日まで休館すると発表した。

4月27日 長崎開港 450 周年記念式典が、長崎ブリックホールで、新型コロナウイルス禍のた

令和3年 長崎年表

め無観客で開催された。本県ゆかりの著名人らが港町・長崎の歩みに思いをはせ、さらなる飛躍を願うコメント等を寄せた。

4月28日 新型コロナウイルス感染拡大を受け、長崎ペーロン選手権大会の実行委員会などは、昨年につき今年の大会も中止すると発表した。

4月29日 県と公益財団法人「角川文化振興財団」は、長崎市で5月7日に予定している東京五輪の聖火リレーで活用する「遣唐使船」を県庁南側の岸壁で報道陣に公開した。

4月30日 県は、7、8日に県内を走る東京五輪の聖火リレーで、長崎市内のコースを一部短縮すると発表した。

5月1日 市は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で1月から延期されていた成人式をオンライン方式に変更し、規模を縮小した式典の様子を生配信した。

5月3日 東京五輪代表選考会を兼ねた陸上の日本選手権で、市立長崎商業高校出身の廣中瑠梨佳選手が優勝を飾り、陸上女子の県勢で初となる五輪代表に決まった。

5月4日 県などは、県内で過去最多の62人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。中村知事は緊急会見で、長崎市で大規模なクラスターが発生しているなどとして、5日から流行段階を示すステージを「3」から「4」に引き上げ、県内全域に特別警戒警報を発出すると述べた。

5月6日 市は、高齢者への新型コロナウイルスワクチン接種について、市内の85歳以上の約2万7500人に接種券を同日発送したと発表した。また、24日から施設入所者以外の85歳以上の高齢者に対するワクチン接種を始める。

5月7日 中村知事は臨時記者会見で、新型コロナウイルス感染が急拡大している長崎市に対し、県独自の緊急事態宣言を8日に発令すると発表した。

5月7日 東京五輪の聖火リレーが県内で始まり、第1日は7市1町で89人のランナーが

希望の道をつないだ。最終日は、5市2町を経て、佐世保市で本県のフィナーレを迎える。

5月8日 県内では新たに65人の新型コロナウイルス感染を確認し、4日公表分の62人を上回り過去最多となった。

5月9日 ソフトボールの第22回全九州高校男子春季大会、第55回九州高校女子選手権が大分県竹田市総合運動公園などで行われ、県勢では女子の市立長崎商業高校が日本文理大付属高校（大分）に勝利し、初優勝を飾った。

5月10日 中村知事は、国の緊急事態宣言に準じた「まん延防止等重点措置」を県内に適用するよう、政府に要請した。

5月11日 市は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、12～31日の20日間に県の営業時間短縮要請に応じる市内飲食店などへ協力金を支給する経費として、約22億7千万円の本年度一般会計補正予算を専決処分したと発表した。協力金は国が8割、県と市が1割ずつ負担。

5月12日 市は、野母崎地区に整備を進めている「長崎のもごき恐竜パーク」の指定管理者について、大成不動産システムを代表とするグループに内定したと明らかにした。

5月13日 新型コロナウイルス感染拡大が収まらず県内の医療提供体制がひっ迫しているとして、中村知事は臨時記者会見で県内感染の広がりを5段階で示す独自のステージを最も高い「5」に引き上げたと発表し、県内全域に「医療危機事態宣言」を発令した。

5月14日 県が国に要請していた「まん延防止等重点措置」の適用が見送られた。取材に応じた中村知事は、「強制措置を伴うような形での要請の選択肢を考えていただけに、見送りは残念」と語った。

5月15日 福岡管区気象台は、長崎県を含む九州北部地方が梅雨入りしたとみられると発表した。平年より20日早く、統計開始以降、2番目に早い梅雨入りとなった。

令和 3 年 長崎年表

5月17日 市議会は臨時会を開き、新型コロナウイルス感染対策費を盛り込んだ総額約 5 億 9,100 万円の本年度一般会計補正予算案など 4 議案を可決した。

5月17日 県高校体育連盟は、第 73 回県高校総合体育大会の総合開会式について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を取りやめると発表した。

5月18日 2007 年に当時の長崎市原爆被爆対策部長（故人）から性暴力を受けたとして、女性記者が市に対し損害賠償などを求めた訴訟で、長崎地裁が田上市長ら当時の市関係者 3 人を証人に採用したと明らかにした。

5月20日 災害時に市区町村が発令していた避難勧告を廃止し、避難指示に一本化する改正災害対策基本法が施行された。

5月21日 県などは、県内で新たに 7 人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。感染者が 1 桁となるのは 4 月 14 日公表以来となる。

5月23日 戸町 4 丁目の井筒造船所に隣接する山が崩れ、造船所の倉庫 2 棟と車 2 台が土砂やがれきで全損した。けが人はいなかった。

5月24日 市は、85 歳以上の高齢者に対する新型コロナウイルスワクチンの個別接種を始めた。同日だけで 148 の医療機関に計 1230 人の接種予約があり、おおむね順調に進んだ。

5月25日 厚生労働省は、米モデルナ製の新型コロナウイルスワクチンを大規模接種会場に加え、職場での接種にも活用する方針を明らかにした。

5月26日 市は、65 歳以上の高齢者の新型コロナウイルスワクチン集団接種を 6 月 13 日から市内 6 会場で始めると発表した。

5月27日 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館で、18 万 6,057 人の名前が記された原爆死没者名簿を外気にさらし、傷みなどを確認する「風通し」が 2 年ぶりにあった。昨年は新型コロナウイルスの影響で名簿を搬出する業者が来ら

れず中止になった。

5月28日 県は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、長崎市内の飲食店などへの営業時間の短縮要請について、6 月 7 日まで延長すると発表した。

5月29日 全国知事会は、新型コロナウイルスに関する国への緊急提言をまとめた。感染が広がるインド由来の変異株封じ込めに向け、全国的な検査体制と水際対策の強化などを要求。

5月31日 市では 4 月 19 日以来、42 日ぶりに新型コロナウイルス感染者の発表がなかったが、県内では 3 名の新規感染者が発表された。

6月1日 市は、13 日から毎週土日曜に市内 6 会場で実施する新型コロナウイルスワクチン集団接種の予約受け付けを市のコールセンターか予約サイトで始めた。コールセンターでは一時的に予約できないトラブルも起きた。

6月1日 長崎原爆の日（8 月 9 日）の平和祈念式典で奉安される原爆死没者名簿に、昨年 8 月以降に亡くなったり新たに確認されたりした被爆者らの氏名などを書き加える筆耕が始まった。

6月2日 市は、長崎原爆の日の平和祈念式典で「平和への誓い」を読み上げる被爆者らの代表に、岡信子さん（92）を選んだと発表した。

6月3日 県は、長崎市内の飲食店などに要請している営業時間短縮について、7 日に解除する方針を固めた。

6月4日 市は、新型コロナウイルス感染拡大で打撃を受けている事業者らへの支援費を盛り込んだ総額約 13 億 5,700 万円の本年度一般会計補正予算案を発表した。

6月6日 県などは、新たに 15 人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。市は、6 日までに私立長崎女子高校の関係者 7 人の感染を確認し、クラスターと認定した。

6月7日 県が独自に長崎市に発令していた緊急事態宣言は、感染者の減少に伴い 7 日まで

令和3年 長崎年表

で解除された。

6月7日 第73回県高校総合体育大会が県内各地で競技が行われ、ソフトボールの女子は市立長崎商業高校が九州文化学園（佐世保）に2-0で競り勝ち、18大会ぶりに優勝した。

6月9日 長崎市の長崎自動車と長崎県交通局は、同市内の路線バス網を維持するため、共同経営に向けた検討を始めると発表した。

6月10日 国土交通省は、景観が優れた地区などを表彰する「都市景観大賞」で、都市空間部門の大賞に長崎市の出島地区（約1.5^{ヘクタール}）が選ばれたと発表した。

6月10日 高校生平和大使の派遣委員会は、第24代高校生平和大使の県内選出8人を発表した。

6月11日 田上市長は定例市議会本会議で、高齢者向け新型コロナウイルスワクチン集団接種会場を27日から2か所増やし、一部会場で夜間も実施する方針を明らかにした。

6月12日 長崎原爆の日の平和祈念式典で田上市長が読み上げる、平和宣言文の起草委員会の初会合が開かれ、市は宣言文の原案を示した。

6月13日 市の高齢者を対象にした新型コロナウイルスワクチンの集団接種が、市民会館など市内6会場で始まった。初日は主に70歳以上の市民ら約2,000人に米ファイザー社製ワクチンを接種した。

6月14日 県は、新型コロナウイルスの適切な感染防止対策に取り組む飲食店に対する第三者認証制度の申請受け付けを、15日から始めると発表した。

6月15日 定例市議会の常任委員会が始まり、教育厚生委員会で市は、伊王島のコミュニティー施設「ヴィラ・オリンピカ伊王島」を本年度末で廃止すると報告した。

6月16日 元長崎市職員の50代女性が市に提出した退職届は正常な判断能力の無い状態だ

ったため無効として退職の取り消しを求めた訴訟で、市は退職の意思表示は無効とする長崎地裁の判決を不服として福岡高裁に控訴したことを明らかにした。

6月18日 第103回全国高校野球選手権長崎大会の組み合わせ抽選会が大村市であり、52チーム（56校）の対戦相手が決まった。昨夏はコロナ禍で中止となり、2年ぶりの開催となる。

6月19日 市や長崎大情報データ科学部、長崎災害リハビリテーション推進協議会など計7団体は、災害時に避難所で過ごす人たちの健康管理を担うシステムの開発、実用化に向けた連携協定を締結した。

6月21日 観光都市としての付加価値を高めるため、必要な施策を考える「長崎市観光マスターブランド検討委員会」の第1回会合が市内であり、長崎の課題について議論した。年度内に意見を取りまとめ、キャッチコピーやロゴマークを決める予定。

6月22日 定例市議会は本会議を開き、新型コロナウイルス感染拡大に伴う生活困窮者への自立支援金給付事業費を盛り込んだ総額約1億5,900万円の本年度一般会計補正予算案など26議案を可決した。

6月23日 県は、新型コロナウイルスの感染の広がりを示すステージを、佐世保市を除いて「3」から「2」に引き下げた。

6月23日 長崎市内で路面電車を運行する長崎電気軌道は、大人運賃130円を140円に値上げすると発表した。同日、九州運輸局に申請し、認められれば10月1日から改定する。

6月24日 市が、新型コロナウイルスワクチンの接種券を65歳以上の視覚障害者へ郵送した際、封筒や接種券に点字を付けるなどの対応を怠っていたことが分かった。

6月25日 総務省が公表した2020年国勢調査の速報値で、最も減少数が多かったのは北九州市の2万1,664人。新潟市2万442人、長崎市2万203人と続いた。

令和 3 年 長崎年表

6月25日 市で4歳男児が12歳の中学1年の少年に誘拐、殺害された事件から7月1日で18年を迎えるのを前に、事件現場近くへの献花台の設置を終了すると発表した。

6月25日 市は、16～64歳の市民の新型コロナウイルスのワクチン接種について、接種券の送付を28日頃から年代別に順次開始すると発表した。

6月26日 東京オリンピックのために来日する国際オリンピック委員会（IOC）のバッハ会長が、7月16日に被爆地の広島を訪問したいとの意向を関係機関に伝え、調整が進んでいることが分かった。IOCのコーツ調整委員長が同じ日に長崎を訪れる計画も検討されている。

6月27日 東京五輪代表選考会を兼ねた陸上の日本選手権がヤンマースタジアム長居（大阪市）で行われ、女子5000mは市立長崎商業高校出身の廣中瑠梨佳選手が初優勝し、1万mと合わせて2種目で東京五輪出場を決めた。

6月28日 市は、今夏に開催予定の東京五輪・パラリンピックに合わせ、東京都と埼玉県の計3か所で、原爆展を広島市と共催すると明らかにした。

6月28日 長崎原爆の被爆者で、長崎原爆被災者協議会の事務局長を務めた山口拓民さんが肺炎のため市内の病院で亡くなった。90歳だった。

6月29日 市消防局は、定例市議会で災害現場の情報収集などに活用するため、ドローン1機を配備すると明らかにした。機体は総務省消防庁から無償貸与され、来年4月の運用開始を目指す。

6月30日 定例市議会は最終本会議を開き、新型コロナウイルス感染拡大の影響で不安を抱える女性への生活相談支援などの事業費を盛り込んだ1,010万円の本年度一般会計補正予算案を可決、閉会した。

7月1日 市で2003年、当時4歳の男児が中学生だった元少年（当時12歳）に誘拐されて殺害された事件から18年を迎えた。現場近くで

は、市民が置いた地藏堂に人々が花を手向け、手を合わせた。

7月2日 政府は、飲食店の新型コロナウイルス感染対策の第三者認証制度の実効性を高めるため、店舗の状況を利用客に報告してもらう新たなアンケートシステムを構築すると発表した。

7月3日 市内の宿泊事業者でつくる長崎旅館ホテル組合は、各施設の従業員や取引のある旅行会社などの関係者計約千人を対象に、新型コロナウイルスワクチンの職場接種を同市内のホテルで開始した。

7月4日 戦時中に強制連行され、長崎原爆で亡くなった中国人犠牲者32人の追悼式が平和公園内の追悼碑前で行われた。

7月4日 日本バスケットボール協会は、東京五輪の5人制男子代表に内定した12人を発表し、県立長崎西高校出身の田中大貴選手が選ばれた。

7月5日 田上市長は、臨時会見を開き、新型コロナウイルスワクチンの供給量が減少しているとして、21日以降に開始予定だった59歳以下の新規予約を先送りすると発表した。

7月6日 県は、新型コロナウイルスの新規感染者が確認されなかったと発表した。県内の感染者ゼロは4月7日以来、90日ぶり。

7月6日 国内最大の文化の祭典で、天皇皇后両陛下が出席される「国民文化祭」と「全国障害者芸術・文化祭」の2025年度開催予定地に本県が選出される見通しであることが分かった。実現すれば本県では初の開催となる。

7月7日 市とあいおいニッセイ同和損害保険（東京）は、地方創生に向けた包括連携協定を締結した。

7月8日 市は、大規模災害時に発生する災害廃棄物の処理などに対応し、早期復旧につなげることを目的として、専門業者でつくる一般廃棄物関係の2団体と協定を締結した。

令和3年 長崎年表

7月8日 スイス・ジュネーブの国連欧州本部に核兵器廃絶を求める署名を届けている「高校生平和大使」の派遣委員会は、第24代大使に19都道府県から過去最多の35人を選出したと発表した。このうち8人は、県内選出者になる。

7月10日 8月9日の長崎原爆の日に関く平和祈念式典で、田上市長が読み上げる平和宣言文の起草委員会の最終会合が開かれた。

7月12日 市教育委員会と福井県立恐竜博物館は、長崎市の白亜紀後期（約8100万年前）の地層から、国内最大級の草食恐竜「ハドロサウルス上科」（鳥脚類）の肩甲骨が見つかったと発表した。

7月12日 東京五輪に出場するポルトガルの競泳チームが事前合宿のため、空路で長崎入りした。

7月12日 中村知事は、臨時会見で県内の新型コロナウイルス感染の広がりを5段階で示す独自のステージを13日から、県内全域で最も低い「1」に引き下げると発表した。4月15日以来3か月ぶり。

7月13日 中村知事は、国際オリンピック委員会（IOC）のコーチ調整委員長が、国連で採択された「五輪休戦決議」の期間が始まる16日に長崎市を訪問すると明らかにした。

7月13日 市は、非政府組織（NGO）平和首長会議の核兵器廃絶に向けた新指針と、それに基づく5か年の行動計画を発表した。新指針の名称は「持続可能な世界に向けた平和的な変革のためのビジョン」。

7月14日 文化庁は、国内最大の文化の祭典、国民文化祭の2025年度開催地に本県が内定したと正式に発表した。同日、中村知事が文化庁を訪れ、内定書を受け取った。

7月15日 市は、静岡県熱海市の土石流災害を受け、土砂災害警戒区域にある大規模な盛り土造成地97か所について、緊急点検を開始したと発表した。

7月15日 市は、JR長崎駅西側で整備を進めるMICE（コンベンション）施設「出島メッセ長崎」について、8月18日に工事が完了し、建設主体の特別目的会社「ながさきMICE」から施設の引き渡しを受けると発表した。

7月15日 田上市長は定例会見で、本年度始めた「平和の文化」事業認定制度で、第1号としてサッカーJ2、V・ファーレン長崎の「平和祈念活動」を認定したと発表した。

7月16日 国際オリンピック委員会（IOC）のジョン・コーツ調整委員長は、被爆地の長崎市を訪れ、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館で献花をして犠牲者を悼んだ。

7月19日 広島原爆で黒い雨を浴びたとされる原告全員に被爆者健康手帳の交付を命じた14日の広島高裁判決を受け、長崎原爆の被爆体験者らは、県と市に対し、国に上告しないよう働き掛けを求める申し入れ書を提出した。

7月19日 地図大手ゼンリンは、地図情報を活用した地域課題の解決を目的として、市と包括連携協定を締結した。

7月20日 県は、新型コロナウイルス感染者2人に、感染力が強いインド由来のデルタ株の疑いがあると発表した。

7月21日 中村知事は臨時会見で、新型コロナウイルスの感染が拡大しているとして、感染状況を5段階で示す県独自のステージを「1」から「2」に引き上げ、注意報を発令すると発表した。

7月22日 国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界遺産委員会は、世界文化遺産に登録されている長崎市の端島を巡り、戦時徴用された朝鮮半島出身者に関する日本政府の説明は不十分だとする決議案を採択した。

7月22日 東京五輪でサッカー男子日本代表が初戦に臨み、主将の吉田麻也選手（長崎市出身）がオーバーエイジ枠で出場し、初戦を白星で飾った。

7月23日 1982年の長崎大水害から39年を

令和3年 長崎年表

迎え、34人が犠牲となった川平町で慰霊祭があり、住民らが犠牲者を偲んだ。

7月26日 市は、台風6号の高波などの影響で、世界文化遺産の構成資産である端島炭坑の見学通路などの転落防止柵が破損したと発表し、観光客の島への立ち入りを停止した。

7月26日 広島への原爆投下直後に降った「黒い雨」を巡る訴訟で、一審に続き原告全員に被爆者健康手帳の交付を認めた14日の広島高裁判決に関し、菅首相は上告断念を表明した。

7月27日 田上市長は、臨時会見を開き、新型コロナウイルスのワクチン接種について、ワクチンの供給量の減少に伴い先送りしていた59歳以下の新規予約を30日から開始すると発表した。

7月27日 第103回全国高校野球選手権長崎大会の決勝戦が行われ、市立長崎商業高校が県立大崎高校（西海市）を破り、5年ぶり8度目の甲子園出場を決めた。

7月27日 東京五輪の男子柔道81kg級決勝で、長崎市出身の永瀬貴規選手が優勝した。同級では2000年シドニー五輪以来、5大会ぶりの金メダルを獲得した。

7月28日 広島原爆投下直後に降った「黒い雨」を巡る訴訟で国が上告断念したことを受け、長崎原爆の被爆地域外で被爆したとして被爆者認定を求めている「被爆体験者」訴訟の原告団は、被告の県、市との和解協議を長崎地裁に申し入れた。

7月29日 広島原爆投下直後に降った「黒い雨」訴訟で、一審に続き原告全員を被爆者と認定し被爆者健康手帳の交付を命じた広島高裁判決が確定した。

7月30日 エボラ出血熱など危険な病原体を扱う感染症研究施設「BSL4」が、長崎大坂本キャンパス（坂本1丁目）に竣工した。

7月30日 市は、長崎原爆の日に平和公園で行われる平和祈念式典の概要を発表した。新型コロナウイルス感染防止を図るため、昨年を引き続

き、一般参列を中止するなど規模を縮小して開催する。

7月31日 インターハイのソフトボール女子で、準々決勝が行われ市立長崎商業高校が私立佐賀女子高校（佐賀市）に6-4で勝ち、初優勝（4校同時）を飾った。第1日が雨天により日程が変更され、準決勝と決勝の中止が決まっていた。

8月1日 長崎原爆資料館で「長崎平和祈念・被爆者追悼供茶式」が開かれ、出席者らが76年前の原爆犠牲者にお茶をささげ、冥福を祈った。

8月1日 東京五輪・パラリンピック組織委員会は、国際オリンピック委員会が五輪開催期間中の「広島原爆の日」の8月6日に、選手や大会関係者に黙とうを呼びかけるなどの対応をしない方針だと明らかにした。

8月1日 全国知事会は、新型コロナウイルスの流行「第5波」が鮮明となり、外出を厳しく制限するロックダウン（都市封鎖）のような手法の検討を含む国への緊急提言をまとめた。

8月2日 広島県で国が定める援護対象区域の外で「黒い雨」を浴びた84人が被爆者と認められたことを受け、中村知事と田上市長は、長崎でも被爆者の認定対象を拡大するよう、厚生労働省に要望した。

8月2日 東京五輪の陸上女子5000m決勝で、市立長崎商業高校出身の廣中瑠梨佳選手が日本新記録をマークして9位でフィニッシュした。

8月3日 県などは、県内で計44人の新型コロナウイルス感染を確認したと発表した。1日当たりの感染者数が40人を超えるのは5月13日以来82日ぶり。

8月4日 市と日本郵便は、地域経済活性化などの分野で協働する包括連携協定を結んだ。

8月4日 中村知事らは、国土交通省と財務省に対し、道路関連の予算確保や高規格道路の整備促進などを要望した。

8月5日 県などは、県内で計51人の新型

令和3年 長崎年表

新型コロナウイルス感染を確認したと発表した。1日当たりの感染者数が50人を超えるのは5月10日以来87日ぶり。

8月6日 中村知事は、新型コロナウイルスの感染急拡大を受けて記者会見を開き、感染の広がりを5段階で示すステージを「4」に引き上げ、県内の飲食店などに対し、10日から23日までの間、営業時間を短縮するよう要請する。

8月6日 広島は、原爆投下から76年の「原爆の日」を迎え、広島市の平和記念公園で平和祈念式典が営まれた。松井広島市長は、平和宣言の中で日本政府に「一刻も早く締約国となる」よう批准を訴えた。

8月7日 田上市長は臨時会見を開き、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、県外からの観光客が多く見込まれる観光施設など35か所を、早ければ10日から休館すると発表した。

8月7日 東京五輪の陸上女子1万m決勝で、市立長崎商業高校出身の廣中瑠梨佳選手が7位入賞を果たした。同種目の日本勢の入賞は25年ぶりとなる。

8月8日 原水爆禁止日本国民会議などが主催する「被爆76周年原水爆禁止世界大会・長崎大会」が長崎市で開幕した。

8月9日 76回目の「原爆の日」を迎え、平和公園で「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」が営まれた。田上市長は長崎平和宣言で、政府に対し、核兵器禁止条約の第1回締約国会議へのオブザーバー参加と、署名・批准を強く要請した。

8月11日 県は、新型コロナウイルスワクチンの全世代接種状況を初めて公表した。8日時点で1回目の接種率が46%、2回目は34.8%で、いずれも全国平均を上回った。

8月12日 県は、県内で新たに計74人の新型コロナウイルス感染を確認したと発表した。1日の感染者公表分としては、5月8日の65人を上回り過去最多。

8月13日 対馬海峡に停滞した前線の影響

で、断続的に強い雨が降り続き、各地で8月としては観測史上最多の雨量を更新し、各地で崖崩れなどの被害が発生した。

8月14日 県内では停滞する前線の影響で大雨が続き、長崎地方気象台は「顕著な大雨情報」を発表し、長崎市を含む6市町に大雨特別警報を出した。6市町は、避難情報で最も危険度が高い「緊急安全確保」を発令した。

8月16日 24日に東京パラリンピックが開幕するのを前に、長崎市で聖火となる火をおこす「採火式」が爆心地公園で行われた。

8月16日 第103回全国高校野球選手権大会で、長崎県代表の市立長崎商業高校は県立熊本工業高校（熊本県）と対戦。8-4で九州勢対決を制し、初戦を突破した。

8月17日 県などは、県内で計104人の新型コロナウイルス感染を確認したと発表した。1日当たりの感染者公表数が100人を超えたのは初めて。長崎市役所などでクラスターが発生した。

8月18日 JR長崎駅西口側に整備中だったMICE（コンベンション）施設「出島メッセ長崎」が完工し、建設主体の特別目的会社「ながさきMICE」から市に引き渡された。

8月19日 中村知事は臨時記者会見で、新型コロナウイルスの感染が爆発的に拡大しているとして、感染状況を示す県独自のステージを最高の「5」に引き上げ、初めて県内全域に県独自の緊急事態宣言を発令すると発表した。

8月19日 県などは、新たに計114人の新型コロナウイルス感染を確認したと発表した。1日当たりの感染者数としては、17日の104人を上回り過去最多。

8月20日 福岡市で開催された第66回九州吹奏楽コンクールの小学生の部で、市立山里小学校が金賞を受賞した。

8月22日 第103回全国高校野球選手権大会で市立長崎商業高校が私立専修大学松戸高校（千葉県）と対戦。6-2で制し、3回戦へ進んだ。

令和3年 長崎年表

8月24日 市は、複数の部下に対し、大声での叱責を繰り返すパワーハラスメント事案などで職員4人を同日付で懲戒処分にしたと発表した。

8月25日 田上市長は定例会見で、東京五輪男子柔道81kg級で金メダルを獲得した永瀬貴規選手を特別栄誉表彰とすることを決めた、と発表した。

8月26日 田上市長は臨時会見を開き、27日から新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置区域となることを受け、同日から市内の公共施設92か所を9月12日まで休館すると発表した。

8月30日 IT企業シーエーシーは、長崎市で2か所目となる拠点開設に向けた立地協定を県、市と締結した。

8月31日 市は、12～29歳の市民への新型コロナウイルスワクチンの接種について、9月10日に予約受付を開始し、26日に接種を始めると発表した。

8月31日 中村知事は定例会見で、東京五輪の柔道男子81kg級で金メダルを獲得した長崎市出身の永瀬貴規選手に「県民栄誉賞」を贈ると発表した。

9月1日 定例市議会が開会し、総額約8億1,300万円の本年度一般会計補正予算案や「常設型」の住民投票条例案など22件を上程した。

9月1日 デジタル庁が業務を開始し、各省庁を統率する司令塔組織として、行政オンライン化をはじめとしたデジタル改革を推進する。

9月3日 九州運輸局は、長崎市の長崎電気軌道が申請していた上限運賃の変更を同日付で認可した。10月1日から普通運賃は大人140円、子ども70円となる。

9月5日 東京パラリンピックの車いすバスケットボール男子日本代表は、長崎市出身の鳥海連志選手と川原凜選手が出場し、初の銀メダルの獲得に貢献した。

9月6日 市は市議会教育厚生委員会で、10月開館予定の市恐竜博物館で館内トイレの施工ミスが原因の漏水事故があったと報告した。

9月7日 市が制定を目指す「常設型」の住民投票条例案について審議していた市議会総務委員会は、50%以上の投票率があれば成立するという修正案を賛成多数で可決した。

9月8日 政府は、「まん延防止等重点措置」を適用している12県のうち、富山、山梨、愛媛、高知、佐賀、長崎の6県を解除する方向と明らかにした。

9月9日 11月1日に開業するMICE施設「出島メッセ長崎」で、報道関係者向けの内覧会があった。固定した座席がなく、カーペット敷きのホールとしては西日本最大級のコンベンションホールなどが公開された。

9月9日 新型コロナウイルスの「まん延防止等重点措置」が12日までで解除されるのを受け、中村知事は、県独自の緊急事態宣言と飲食店などへの営業時間短縮要請について、佐世保市を除き12日までで解除すると発表した。

9月9日 市教育委員会が学期ごとに任用する学校職員らの健康保険と厚生年金保険をめぐり、日本年金機構が過去2年間の未加入分をさかのぼって加入させるよう求めた遡及措置について、不服とする市教育委員会と市は一部取り消しを求める訴訟を長崎地裁に起こした。

9月10日 定例市議会の本会議が開かれ、本年度一般会計補正予算案など26議案を可決、同意した。このうち国が定める指定地域外で長崎原爆に遭った「被爆体験者」の救済を求める意見書案は全会一致で可決。同日、菅首相らに郵送した。

9月10日 市は、2020年の観光統計を発表し、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、訪れた観光客数は前年比約63%減の約256万600人だった。

9月14日 定例市議会是一般質問が始まり、市は、バスと路面電車の助成方式を紙券からICカードへのポイント付与に変更した「高齢者交通

令和 3 年 長崎年表

費助成事業」について、地域センターなど公共施設にポイント交換機の設置を検討していると明らかにした。

9月17日 県は、市の指定避難所「県立総合体育館」の円滑な運営に向け、市と施設指定管理者との3者間で避難所施設利用に関する協定を結ぶ方針を示した。

9月18日 九州北部に大きな被害を与えた8月の大雨による農林水産関連の被害額が福岡、佐賀、長崎、熊本、大分の5県で計315億円に上ることが分かった。長崎県の関連被害額は50億円。

9月19日 県などは、県内で5人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。新規感染者が1桁になるのは7月26日以来55日ぶり。

9月21日 被爆者5団体の一つである「県被爆者手帳友の会」は、事務所を移転し、名称を「ヒバクシャ・コミュニティ・センター」と決めた。

9月22日 市は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う営業時間短縮などにより売り上げが減少した中小事業者を対象に最大20万円の一時金を支給すると発表した。

9月24日 市は、新型コロナウイルスワクチンの接種促進に向け、新たに長崎西洋館を集団接種会場に加えると発表した。11月中旬までに希望する全市民の接種を終えることを目指す。

9月25日 長崎学の体系化や継承に長年貢献し、長崎くんちの解説等でも活躍した郷土史家の越中哲也氏が死去した。99歳だった。

9月27日 市は、民間事業者との契約事務で押印などの手続きを省きデジタル化するため、東芝デジタルソリューションズ(川崎市)と連携して電子契約システムを開発すると発表した。

9月27日 報道機関の女性記者が市の男性部長(故人)から性暴力を受けたとして、損害賠償と謝罪を求めている訴訟に関し、女性記者を支援する県内の19団体が連名で市へ要望書を提出した。

9月28日 2007年に当時の市原爆被爆対策部長(故人)から性暴力を受けたとして、女性が市に対して損害賠償などを求めた訴訟で、女性側弁護士は、賠償請求を提訴段階の約3,500万円から約7,400万円に増額する手続きを取ったと明らかにした。

9月29日 市は、10月29日開館する市恐竜博物館を報道陣に公開した。長崎ゆかりの化石など約180点の展示作業がおおむね完了した。

9月29日 県は、新型コロナウイルスの適切な感染防止に取り組む飲食店の第三者認証制度について、定例県議会観光生活建設委員会で、県内2,084店舗(9月28日時点)を認証したと報告した。年内目標は8,800店舗で達成率は24%と遅れている。

9月30日 田上市長は定例会見で、東京パラリンピック車いすバスケットボール男子で銀メダルを獲得した、長崎市出身の川原凜選手と鳥海連志選手に、最高位に次ぐ「栄誉表彰」を新設し、表彰すると発表した。

10月1日 市内で路面電車を運行する長崎電気軌道は、運賃を10円引き上げ140円(子どもは70円のまま)に改定した。

10月4日 2007年、当時の市原爆被爆対策部長(故人)から性暴力を受けたとして、女性記者が市に対し損害賠償などを求めた訴訟の口頭弁論が長崎地裁であり、田上市長らを証人尋問した。

10月4日 岸田首相は記者会見を開き、臨時国会会期末の14日に衆議院を解散し、次期衆議院議員総選挙の日程を19日告示、31日投票にする」と表明した。

10月5日 県は、東京五輪柔道男子81kg級で金メダルに輝いた長崎市出身の永瀬貴規選手に県民栄誉賞を授与した。同日、長崎市特別栄誉表彰の表彰式も行われ、田上市長が永瀬選手に表彰状を贈った。

10月5日 中村知事は臨時会見で、県内の新型コロナウイルスの感染状況を5段階で示す県

令和3年 長崎年表

独自のステージを、6日から県全域で最も低い「1」に引き下げると発表した。7月20日以来、78日ぶり。

10月7日 県保険医協会は、国指定の被爆地域外で長崎原爆に遭い被爆者として認められていない「被爆体験者」の救済を求める署名2万191筆の写しを県と市に提出した。

10月7日 2024年インターハイの北部九州（長崎、福岡、佐賀、大分4県）開催が決定した。本県での開催は、2003年、2013年以来3度目。

10月10日 市選挙管理委員会は、衆院選の立候補者のポスターを貼る掲示板の設置を始めた。17日までに市内897か所に設置する予定。

10月13日 9月の定例市議会で修正可決し、成立した「常設型」住民投票条例について、過去に住民投票の実施を市に求めた市民団体などは、条例の改善を求める共同声明を発表した。

10月14日 衆議院が本会議で解散され、政府は臨時閣議で衆議院議員総選挙日程を「19日公示、31日投票」と決定した。

10月15日 市は、新型コロナウイルスワクチンの集団接種について、1回目接種を24日であったん終了すると発表した。

10月17日 市選挙管理委員会は、衆議院議員総選挙の投票所入場券を長崎中央郵便局に引き渡した。19日から有権者に発送される。

10月18日 県選挙管理委員会は、18日現在の県内の選挙人名簿登録者数を発表した。県内有権者は111万6,961人。

10月19日 公示された衆議院議員総選挙の県内4選挙区には前職4人、新人9人の計13人が立候補し、全選挙区で与野党対決の構図となった。

10月20日 田上市長は、長崎学の発展に尽くし9月25日に99歳で亡くなった郷土史家、越中哲也氏に「榮譽市民」の称号を贈ると市議会会派代表者会議に報告した。

10月21日 市は、小型家電に含まれるレアメタルなどの再資源化に取り組むリネットジャパンリサイクル（愛知県）と、家庭の使用済みパソコンなどのリサイクル促進に向けた協定を結んだ。

10月21日 長崎大は、長崎大学病院（坂本1丁目）の敷地内に「特殊災害・新興感染症トリアージユニット棟（TED棟）」が完成したと発表した。

10月22日 県は、県内で新型コロナウイルス感染者が確認されなかったと発表した。感染者ゼロは7月12日公表以来102日ぶり。

10月23日 長崎孔子廟（大浦町）で、孔子の生誕2572年を祝う「孔子祭」が開かれた。

10月25日 市は、新型コロナウイルスワクチンの集団接種で、最大で6人に濃度不足のワクチンを接種した可能性があるとして発表した。

10月27日 市と明治安田生命保険は、地域のニーズに迅速、適切に対応し市民サービスの向上を図ることを目的とした包括連携協定を締結した。

10月27日 県都市計画審議会は、県が整備を進める地域高規格道路「長崎南北幹線道路」の未整備区間（長崎市茂里町―西彼時津町野田郷）について、都市計画道路として決定することを承認した。

10月27日 JR九州は、2022年春に開業を予定するJR長崎駅高架下商業施設の名称を「長崎街道かもめ市場」とし、土産や飲食など計54店舗が出店すると発表した。

10月28日 田上市長は定例会見で、2023年に日本で開催予定の先進7か国首脳会議（G7サミット）の関係閣僚会議について、11月1日開業予定のMICE施設「出島メッセ長崎」を会場として、誘致を目指す考えを明らかにした。

10月28日 市は、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種について、早ければ12月からの開始を想定していると発表した。

令和3年 長崎年表

10月29日 国内3か所目となる恐竜専門の博物館「市恐竜博物館」と、一帯の「長崎のもぎき恐竜パーク」がオープンし、親子連れや修学旅行生ら約1,300人でにぎわった。

10月30日 午後7時半ごろ、市内で最大約4,100戸が一時停電した。九州電力送配電によると、停電時間は最大7分間だった。

10月31日 衆議院議員総選挙が行われ、長崎1区に西岡秀子氏、2区に加藤竜祥氏、3区に谷川弥一氏、4区に北村誠吾氏が当選し、3区の山田勝彦氏と4区の末次精一氏が比例復活で当選した。

11月1日 JR長崎駅西口に市が整備したMICE(コンベンション)施設「出島メッセ長崎」が開業した。

11月1日 市教育委員会が学期ごとに任用する学校職員らの健康保険と厚生年金保険を巡り、日本年金機構が過去2年間の未加入分をさかのぼって加入させるよう求めた遡及措置について、市教育委員会と市が取り消しを求めた訴訟の第1回口頭弁論が長崎地裁であった。

11月2日 新型コロナウイルス対策の給付金を巡る詐欺事件で、市の中小事業者向け一時金計約51万円をだまし取ったとして、長崎署は詐欺の疑いで同市、行政書士の40代男性と飲食店従業員の30代女性を再逮捕した。

11月4日 8月9日の平和祈念式典で、被爆者代表として「平和への誓い」を読み上げた長崎市の岡信子さんが市内の病院で死去した。93歳だった。

11月5日 県と市は、国が定めた被爆地域外で長崎原爆に遭った「被爆体験者」について、広島原爆による「黒い雨」訴訟の広島高裁確定判決で被爆者と認められた原告84人と同様に、被爆者認定して救済するよう厚生労働省に要請した。

11月6日 市恐竜博物館の来館者が1万人を突破した。先月29日の開館から1週間で達成。

11月7日 ソフトボールの第16回全九州高

校秋季大会が行われ、県勢は女子の市立長崎商業高校が4年ぶり2度目の優勝を飾った。

11月8日 市は、新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場で業務に当たっていた医療従事者が3回目の接種を誤って受けたと発表した。

11月9日 石木ダム建設予定地の川棚町川原地区で社会科見学を実施し、児童の書いた感想文を保護者の許可なく学校外に提供したなどとして、市教育委員会から文書訓告処分を受けた市内小学校の50代男性教諭が、処分取り消しを求め市公平委員会に審査請求した。

11月10日 国内クルーズ船「飛鳥II」が長崎に寄港した。乗客がいるクルーズ船が長崎港に入るのは、新型コロナウイルス感染拡大前の昨年2月以来約1年9か月ぶり。

11月11日 医療機関向けの新型コロナウイルス対策補助金の交付が7か月程度遅れているとして、長崎市の本田内科医院が国に約500万円の損害賠償を求める訴訟を長崎地裁に起こした。

11月12日 開業したMICE施設「出島メッセ長崎」のこけら落としイベント「長崎 MICE EXPO」が開幕した。

11月13日 鹿児島県出水市で高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたことを受け、県は、県鳥インフルエンザ警戒連絡会議を開いた。

11月14日 長崎くんちの演し物の「来港船」5隻が、保管先の長崎伝統芸能館(南山手町)から出され、松が枝国際ターミナルから出島表門橋公園までの一般道を根柢衆が練り歩きながら移動した。

11月15日 県教育委員会は、第2回公立高進学希望状況調査(1日現在)の結果を公表した。全日制の平均希望倍率は0.89倍で、前年12月を0.03ポイント上回った。

11月16日 市原子爆弾被災資料審議会は、新たに同市の樹木2本について、「被爆樹木」として承認した。市は今年中に「被爆建造物等」とし

令和3年 長崎年表

て指定する方針で、2003年以來18年ぶりとなる。

11月17日 市は、24日開会の定例市議会に提出する本年度一般会計補正予算案など56件を発表した。新型コロナウイルスの感染拡大防止策では、ウイルス遺伝子の配列を解析し新たな変異株の検出を可能とする機器を購入する方針。

11月18日 現存する日本最古の洋風木造建築で、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つでもある「旧グラバー住宅」（南山手町）のリニューアル工事が終わり、内部を一般公開した。

11月18日 田上長崎市長と松井広島市長は、岸田首相と面会し、来年3月に予定される核兵器禁止条約の締約国会議への日本のオブザーバー参加を求めた。

11月19日 「世界夜景サミット」が出島メッセ長崎で開かれ、「世界新三大夜景」に長崎市とモナコ、上海が選ばれた。長崎市は2012年に続き再認定となる。

11月20日 長崎開港450周年を祝う「長崎開港フェスタ450」が、市中心部の国道34号線（万才町）、出島表門橋公園（江戸町）の2会場で始まった。

11月22日 市は2023年の導入を目指す「宿泊税」について、1人1泊当たりの税額を一律200円としていた当初案を見直し、宿泊料に応じて100～500円の3段階とする方針を示し、田上市長が市内で宿泊事業者向けの説明会を開き理解を求めた。

11月23日 本年度の県民表彰式が県議会議場であり、114人と19団体に表彰状が贈られた。

11月23日 政府が子どもの貧困、虐待を防ぐため、家庭の経済状況や子どもの学力といった幅広い情報を一元化するデータベースを構築する方針を固めたことが分かった。

11月24日 定例市議会が開会し、本年度一般会計補正予算案など51件を上程した。田上市長

は行政報告で、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種を12月から始め、対象者には11月29日から接種券を送付する方針を示した。

11月25日 長崎学の発展に尽力し、9月に99歳で亡くなった郷土史家、越中哲也さんに対し、市はその功績をたたえ「榮譽市民」の称号を授与した。

11月26日 広島原爆の投下直後に降った「黒い雨」の被害救済に関し、厚生労働省は、被爆者認定制度を改正した上で来年4月から運用することを目指す方針を明らかにした。

11月28日 バスケットボール男子のBリーグ3部の長崎ヴェルカはベルテックス静岡に敗れ、開幕からの連勝が「13」で止まった。

11月29日 定例市議会本会議は、一般質問が始まった。田上市長は2019年市長選で掲げたマニフェストについて、任期満了の2023年4月下旬までに90%以上を達成するとの見通しを示した。

11月30日 2020年10月1日時点の本県人口は131万2,317人で、2015年より6万4,870人（4.7%）減少したことが、国勢調査確定値で明らかになった。市は、40万9,118人で前回から2万390人減少した。

11月30日 政府は、新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン株」の感染者が日本で初めて確認されたと発表した。

12月1日 定例市議会の一般質問において、田上市長は、2022年度の予算編成について、「人口減少克服」や「コロナ禍からの社会・経済の復興」など四つの柱を掲げる方針を答弁で示した。

12月1日 市は、大人の家族に代わり日常的に家事などを担う18歳未満の「ヤングケアラー」について調べたところ、市内の小中学生計75人（10月末現在）が該当する可能性があることが明らかになった。

12月1日 新型コロナウイルスワクチンの3回目の追加接種が、全国各地で始まった。

令和 3 年 長崎年表

12月2日 定例市議会の一般質問において、田上市長は、民間移譲を進めている市立幼稚園や保育所に関し、幼保連携型の市立認定こども園長崎幼稚園（魚の町）を市の「基幹施設」と位置づけ、唯一の市立認定こども園として存続する方針を答弁で示した。

12月3日 中村知事は、定例県議会一般質問で、2023年に日本で開催予定の先進7か国首脳会議（G7サミット）の関係閣僚会合の長崎市への誘致について、前向きに検討する意向を明らかにした。

12月3日 市は、生活保護費1万125件（計約7億9千万円）の同日支給が事務処理ミスにより数時間遅れたと発表した。

12月3日 市が2017年度から順次、眼鏡橋や平和祈念像など市内中心部の7地区で歴史的建造物のライトアップに取り組む「市まちなか夜間景観整備」が、本年度土木学会デザイン賞で優秀賞を受けた。

12月6日 市は、市議会建設水道委員会で、油屋町の市道（歩道）に40年以上前から民有地が含まれ、市道として登記されていないことを明らかにした。

12月7日 定例市議会の総務委員会では、来年4月1日施行の「常設型」住民投票条例について、投票率が50%に満たない場合は成立せず開票もしないとの「成立要件」の廃止を求める請願を賛成少数で不採択とした。

12月7日 市上下水道局は市議会建設水道委員会で、市内の川に架かり、導水管などが通る「水道橋」77本を点検したところ、17本に部材の腐食や欠落などが見つかったと明らかにした。10月に和歌山市の水管橋の一部が崩落し、大規模な断水が発生した問題を受け実施した。

12月10日 市は、国の経済対策で18歳以下に配られる現金とクーポン計10万円相当の給付について、全額現金で支給する方針を明らかにした。現金5万円の先行支給は24日で、一部は年明け以降になる。

12月11日 来年1月に米ニューヨークの国連本部で開かれる核拡散防止条約（NPT）再検討会議に、日本原水爆被害者団体協議会が被爆者代表団の派遣を新型コロナウイルス感染拡大に伴い、断念したことが分かった。

12月13日 来年1月に米ニューヨークで開かれる核拡散防止条約（NPT）再検討会議について、田上市長は、新型コロナウイルス感染拡大で出席を断念すると表明し、オンラインでの発言を松井広島市長と共に求める考えを示した。

12月14日 長崎市平和公園再整備基本計画検討委員会の会合が市内であり、市は松山町の陸上競技場に新たに地下駐車場の導入を検討していると明らかにした。

12月14日 県交通局は、長崎自動車と来年4月に始める「共同経営」で、競合路線のうち東長崎地区の運行を県営バスに、滑石地区を長崎バスに一本化する方針を示した。

12月16日 市は、18歳以下を対象に国が10万円相当を給付する事業について、全額を現金で一括給付すると発表した。

12月20日 大阪市北区の雑居ビルのクリニックで起きた放火殺人事件を受けて、市消防局は、似た構造の雑居ビルへの緊急立ち入り調査を始めた。

12月21日 来年8月9日の「長崎原爆の日」の平和祈念式典で「平和への誓い」を読み上げる代表者を選定する審査会が、市内で初会合を開き、応募資格を協議した。

12月22日 県と市は、2023年に日本で開催予定の先進7か国首脳会議（G7サミット）の関係閣僚会合について、長崎市への誘致を正式に表明した。政府系の大規模な国際会議を県内に誘致を目指すのは初めて。

12月22日 県市長会会長の田上市長は、県庁を訪れ、21日に4選を目指しての立候補を表明した中村県知事に市長会としての推薦状を手渡した。

令和3年 長崎年表

12月23日 広島「黒い雨」訴訟の広島高裁判決確定を受けて厚生労働省が新たに示した被爆者認定指針案は、被爆者としての救済を求めてきた長崎の「被爆体験者」を対象外とみなすものだった。

12月24日 現存する日本最古の木造洋風建築「旧グラバー住宅」（南山手町）が、約3年ぶりに全面公開された。来年1月中、市民や市内の小中高大学に通う学生らを対象に無料開放する。

12月24日 県内多くの公立小中学校で、2学期の終業式があった。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きを見せる中、体育館に全校児童を集めて式を開いた小学校も。2週間余りの冬休みが始まった。

12月25日 演劇や音楽に興味のある長崎市民が、3年間にわたり制作した舞台「ながさきのたね」（市主催）が25、26日の両日、長崎ブリックホールで上演された。市民オーディションで選ばれた出演者が熱の入った演技や歌、踊りで観客約400人を魅了した。

12月27日 広島への原爆投下直後に降った「黒い雨」に遭った人を被爆者と認める厚生労働省の新しい審査指針案が事実上確定した。同省は、広島県と市が案に同意したことを明らかにした。一方、長崎県と市は、「広島に限定される案は受け入れられるものではない」と回答した。

12月28日 広島原爆の「黒い雨」被害救済を巡り、厚生労働省が今月示した被爆者認定指針の骨子案で長崎の被爆体験者を対象外としたことについて、田上市長は定例会見で「広島と長崎を分断する指針。主張が受け入れられず、非常に憤りを感じる」と非難した。

12月29日 市は、「沈黙」などで知られる作家の遠藤周作さん（1923～96年）が、太平洋戦争前後の米国を扱った「善人たち」や戦国時代のキリシタン大名、小西行長を主題にした未発表の戯曲原稿3本が見つかったと発表した。

12月29日 来年1月4～28日に米ニューヨークで開催予定の核拡散防止条約（NPT）再検討会議は、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、

再び延期することが決まった。

12月30日 新型コロナウイルスの感染拡大で2022年1月からの開催延期が決まった核拡散防止条約（NPT）再検討会議について、議長を務めるスラウビネン氏が22年夏に米ニューヨークの国連本部での開催を加盟国に打診したことが分かった。

12月31日 核拡散防止条約（NPT）再検討会議の再延期が決まったことを受け、田上市長は「軍拡の流れに歯止めをかけ、核兵器廃絶に向けた動きを堅固なものとするよう期待を寄せていたが、非常に落胆している」とコメントを出した。